



# 励徳励行

自ら考え  
進んで行動し  
学び続ける  
『キラリと光る励徳っ子』



周囲の山は雪化粧

第 33 号

R5.12.22発行

文責 永田 功臣

## 充実した2学期でした！



長かった2学期が終わりました。たくさんの行事があり、どこかへ出かけたり、学校に来ていただいたりする機会が多かった2学期でした。

「励徳プライド」を発揮して有意義な活動ができていたと思います。特に①あいさつは、上級生がリードして「礼トーク」を実践し、下級生の声もそれに伴って大きくなってきました。地域の方へも気持ちが伝わり、「気持ちのいい挨拶ですね」といった声がたくさん聞かれました。

2学期とともに2023年も終わろうとしています。上記の成果を自信とし、今年できたこと、できなかったこと等を振り返るとともに、さらなる目標を掲げて、3学期や新年を迎えましょう。

- ① あいさつ
- ② 発表
- ③ 考動



## ☆はうから☆ ~今年できた・がんばった事~

- 片山 八恵：りくじょうきょうしつをがんばった。
- 下田 琴葉：さかあがりができた。
- 高田 悠貴：ちきゅうまわりができた。
- 田村 稀道：サッカーをがんばった。
- 杉本 陽麻：プールではしからはしまでおよげるようになった。
- 谷澤 樹希：けん玉ができるようになった。
- 田村 ゆず：バレエをえがおで上手にできた。
- 平野 心菜：しゅう字で4文字の字がていねいに書けるようになった。
- 本田 陽凧：クロールができるようになった。
- 松本 城都：字がだんだんきれいになってきた。
- 渡邊 大翔：先生がだれかと話しているとき、まてるようになった。
- 北島羅偉門：元気な声であいさつをちょっとずつできるようになった。
- 田村 心路：がんばる心を育てることができた。
- 平野 茉緒：みんなにたくさんやさしくできた。
- 高田 美優：委員会の長い原稿を覚えられるようになった。
- 立石仁之介：強い気持ちでプレッシャーと闘うことができた。
- 谷澤 優志：宿題のやり直しが去年より減った。
- 中村 陽希：楽しく1年間すごせた。
- 山田 麻陽：声が大きくなった。楽しく遊べた。
- 渡邊 妃夏：自分から行動できるようになった。
- 杉本 月鈴：全体に声をかけることがとく意になった。
- 林田 花暖：相手に聞こえる声であいさつすることができるようになった。
- 増永 初華：地域と関わられた。5年生だけで遊びを企画した。
- 山田 静衣：高学年になって、委員会とかがいそがしくなった。
- 吉岡明美奈：テニスができるようになって、じきゅう走が速くなった。
- 北島 秀都：修学旅行でみんなと思い出をたくさん作ることができた。
- 黒田 那月：思いやりを持ち、目標を決めて達成できた年だった。
- 島田 惇史：漢字と考動をがんばった。
- 島村 竜輝：修学旅行を十分に楽しめた。
- 森田コウジ：委員会や行事で下級生のお世話ができた。
- 渡邊 敢太：自分の気持ちを少し言えるようになった。



©ゴトウマサフミ



©ゴトウマサフミ

※文字数が限られるため、一部変更している箇所もあります。

## キラリと光る励徳っ子

※表彰伝達しました

- ヘアードネーション感謝状 4年 高田 美優
- 美里町読書感想文・読書感想画コンクール
  - 読書感想画 入選 1年 田村 稀道「だんまり こおろぎ」
  - 読書感想文
    - 特選 4年 渡邊 妃夏「かずさんの手」
    - 特選 6年 島田 惇史「大地をうるおし平和につくした医師」
    - 入選 4年 中村 陽希「ライスボールとみそぐらと」
    - 入選 6年 渡邊 敢太「犬やねこが消えた」
- 第22回全国書道展 特賞 2年 平野 心菜
- 2023産経ジュニア書道コンクール
  - 秀作 5年 増永 初華 6年 島田 惇史
- 第42回熊日学童書道展 秀作 2年 平野 心菜

## 感謝！

タクシー運転手の永津さんには登校坂のガードレールに加えて、**掲示板の裏面の補修**もしていただきました。娘さんの卒業時に建てられたものなのですが、ありがとうございます。



## 赤い羽根共同募金 11,595円！

企画委員会が呼びかけ、みんなから集められた募金は11,595円ありました。町社会福祉協議会にお渡しし、福祉関係で活用されます。また一部はボランティア助成金として返ってきます。